

Ⅲ. 産学連携

・ 地域連携

- ① 複数大学による産学連携体制の構築、ベンチャー支援
- ② 産業界との連携によるオープンイノベーションの推進
- ③ 地域の自治体・産業界と連携した共同研究の推進
- ④ その他、産学連携・地域連携に関する複数大学等の連携・協働による取組

| | | |
|--------------|---|---|
| 大 学 名 | | 東京大学 |
| 分 類 | 大 分 類 | 産学連携・地域連携 |
| | 小 分 類 | ①複数大学による産学連携体制の構築、ベンチャー支援 |
| 他大学等の参加の可・不可 | | 参加可 |
| 取組（事業・制度等）名称 | | 産官学グローバル連携によるEDGE NEXTプログラム（Global Tech EDGE NEXT） |
| 取 組 概 要 | 概要・目的 | グローバルな起業家人材を育成し、円滑に生み出し続けるエコシステムを国内外の関係機関が連携して構築していく事を目指すプログラムであり、文部科学省の補助事業として実施。東京大学・筑波大学・静岡大学・お茶の水女子大学の4大学がコンソーシアムを形成し、各大学で蓄積してきたノウハウを共有することにより、グローバルな起業家人材を育成する。 |
| | 始 期 | 平成29年度 |
| | 終 期 | 平成33年度 |
| | 関係機関 (大学・自治体・企業等) | (主幹機関) 東京大学 (協働機関) 筑波大学・静岡大学・お茶の水女子大学 |
| | 成 果 | 主幹機関・協働機関それぞれが、各大学で蓄積してきたノウハウを共有するために、各機関の教員もしくはメンター、更には海外のVC等が他機関の受講生に対しても指導やビジネスプランの審査をする機会（共通プログラム）を作った。その結果、コンソーシアム全体として49件のビジネスプランが生み出され、その中から15件が社内新規事業立ち上げもしくは起業を計画している。海外展開を計画しているチームも5つ生まれ、グローバルな起業家人材を育成した。一部の海外大学との支援体制、市場検証活動を行い投資案件レベルまで引上げる価値創造プラットフォームをコンソーシアムで構築した。 |
| その他特記事項 | 本事業のURL： https://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/activity/venture/education/edge.html | |

| | | |
|--------------|----------------------|--|
| 大 学 名 | | 宇都宮大学 |
| 分 類 | 大 分 類 | 産学連携・地域連携 |
| | 小 分 類 | ①複数大学による産学連携体制の構築、ベンチャー支援 |
| 他大学等の参加の可・不可 | | 参加可 |
| 取組（事業・制度等）名称 | | 首都圏北部4大学連合 4u 連携事業 |
| 取 組 概 要 | 概要・目的 | 広域な産学官連携活動・知的財産活動全般の推進のための事業です。 4u活動は広域パートナーシップ宣言を具現化するためのものであり、地域の特徴、特色を生かして首都圏北部4大学連合が主体になって公私立大学、高等専門学校、短期大学等と連携とネットワーク構築を図り、産業界、国、4県の地方自治体、公認試験場、金融機関等の産学官連携を促進して、首都圏地域のイノベーション創出に貢献し、地域産業振興に寄与することを目的とします。 |
| | 始 期 | 平成20年8月22日 |
| | 終 期 | |
| | 関係機関 (大学・自治体・企業等) | 茨城大学、宇都宮大学、群馬大学、埼玉大学 |
| | 成 果 | 4U合同による ・シーズ集発行 ・JSTの新技术説明会開催 ・各地域を廻る、キャラバン隊による新技术説明会 ・広域技術相談 |
| | その他特記事項 | |

| | | |
|--------------|----------------------|---|
| 大 学 名 | | 名古屋大学 |
| 分 類 | 大 分 類 | 産学連携・地域連携 |
| | 小 分 類 | ①複数大学による産学連携体制の構築、ベンチャー支援 |
| 他大学等の参加の可・不可 | | その他 |
| 取組（事業・制度等）名称 | | 名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャーファンドの創設 |
| 取 組 概 要 | 概要・目的 | 自動車や航空機などの輸送機器産業、電子産業、素材産業などの世界有数の産業集積地に所在する地理的なアドバンテージを活かしながら、産学官連携を含む多様な連携を積極的に行い、研究成果の社会実装を実現する取組のひとつとして、技術移転やベンチャー企業の育成を加速するため「名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャーファンド」を創設した。本ベンチャーファンドは、先行する官民ファンドや既存の大学ベンチャーファンドとは異なり、地元の複数大学が結集し、民間ベンチャーキャピタルとの連携によって破壊的イノベーションの実現を目指すもので、大学発ベンチャーの起業支援からアントレプレナーシップ教育までを行う。 |
| | 始 期 | 平成28年3月（ファンド創設時期） |
| | 終 期 | |
| | 関係機関 (大学・自治体・企業等) | 国立大学法人岐阜大学、国立大学法人豊橋技術科学大学、国立大学法人名古屋工業大学および国立大学法人三重大学と、日本ベンチャーキャピタル株式会社（NVCC） |
| | 成 果 | <p>ファンド総額は2.5億円であり、ベンチャーへの投資は順調に進んでいる。</p> <p>ファンド設置時にNVCCから受けた寄付金を原資に、①起業推進事業としてスタートアップ準備資金と②起業家育成事業としてアントレプレナー連携教育資金を設け、公募型の資金支援事業とアントレプレナー教育を行っている。</p> <p>5大学は、本事業が軌道に乗ったのを契機に平成29年3月「東海地区産学連携大学コンソーシアム」を構築し、ベンチャー育成事業のみならず産学連携全体の協力も視野に活発な活動を展開している。</p> <p>こうした取組によりベンチャー起業・育成の気運は確実に盛り上がり、名古屋大学発ベンチャーはここ数年着実に増加している。</p> |
| | その他特記事項 | 1号ファンドの取り組みをさらに加速するため、2号ファンド創設に向けて運営事業者選定中。 |

| | | |
|--------------|----------------------|--|
| 大 学 名 | | 名古屋工業大学 |
| 分 類 | 大 分 類 | 産学連携・地域連携 |
| | 小 分 類 | ①複数大学による産学連携体制の構築、ベンチャー支援 |
| 他大学等の参加の可・不可 | | 参加可 |
| 取組（事業・制度等）名称 | | 次世代アントレプレナー育成事業「Tokai-EDGE (Tongali) プログラム」 |
| 取 組 概 要 | 概要・目的 | 東海地区にある5国立大学（名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、岐阜大学、三重大学）が形成する東海地区産学連携大学コンソーシアム（東海コンソ）が母体となり、自らのアイデアや技術で、世の中に変革をもたらそうとチャレンジする人材の育成を行う。これまで、各大学が実施してきた人材育成に関するノウハウの蓄積と資源を効果的に共有する。また、協働で実施してきた「Tongali スクール」を拡大する形で、体系的な教育システムを構築する。 |
| | 始 期 | 2017年9月1日 |
| | 終 期 | 2022年3月31日（最長） |
| | 関係機関 （大学・自治体・企業等） | 主幹機関：名古屋大学 協働機関：名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、岐阜大学、三重大学 |
| | 成 果 | 次世代アントレプレナー育成事業「Tokai-EDGE (Tongali) プログラム」の一環として本学にて実施している内容は以下のとおり。 起業家マインドを醸成するため、本学の卒業生である起業家を講師とし、関東圏で活躍する起業家やベンチャーキャピタルの方々とのトークセッションを実施する「アントレプレナー育成塾」、起業知識・スキルの習得のため、0→1の生み出し方、1→∞のアイデアの広げ方を体系的にグループワーク形式で学ぶ「価値創造ワークショップ」を開催している。また、ここから更に発展させた起業実践として、アイデアを持ち込んだ学生を社長としてチームを組み、事業プレゼンを体験する「アイデア事業化合宿」を開催している。このような取組を行うことにより、学生が自ら起業について学び、情報共有・仲間の発掘の場として同好会（「Startup Hub 名工」）を設立するに至るなど、学生の意識に変化が現れている。なお、創造工学教育課程において、技術の価値化を体系的に学ぶ「イノベーション論」にて、専門分野が分れるよう学科を横串にし、10名で10チームを編成し、チームによる事業の共創を目指す講義を行っている。 |
| その他特記事項 | | |

| | | |
|------------------|----------------------|--|
| 大 学 名 | | 三重大学 |
| 分 類 | 大 分 類 | 産学連携・地域連携 |
| | 小 分 類 | ①複数大学による産学連携体制の構築、ベンチャー支援 |
| 他大学等の参加の可・不可 | | 参加不可 |
| 取組（事業・制度等）名称 | | 名古屋大学・東海大学地区広域ベンチャーファンド |
| 取 組 概 要 | 概要・目的 | 東海広域5大学に由来するベンチャーに投資するベンチャーファンドを創設し、地元の複数大学が結集して、民間ベンチャーキャピタルとの連携によって破壊的イノベーションの実現を目指すもので、大学発ベンチャーの起業支援からアントレプレナーシップ教育までを行う。 |
| | 始 期 | 2016年3月8日 |
| | 終 期 | 2025年12月31日 |
| | 関係機関 (大学・自治体・企業等) | 日本ベンチャーキャピタル株式会社 国立大学法人名古屋大学 国立大学法人岐阜大学 国立大学法人豊橋技術科学大学 国立大学法人名古屋工業大学 国立大学法人三重大学 |
| | 成 果 | アーリーステージにあるシーズ掘り起こしを行うとともに、大学の独自運営により研究シーズの育成を行うギャップファンド、研究者や学生のアントレプレナーシップ教育等を連動させることで、技術開発と人材育成の両面から、将来の東海地区の産業振興を見据える。 具体的にはギャップファンドをスタートアップ準備資金とアントレプレナーシップ連携教育資金として活用を行っている。 |
| その他特記事項 | | |

| | | |
|--------------|----------------------------------|--|
| 大 学 名 | | 九州工業大学 |
| 分 類 | 大 分 類 | 産学連携・地域連携 |
| | 小 分 類 | ①複数大学による産学連携体制の構築、ベンチャー支援 |
| 他大学等の参加の可・不可 | | 参加可 |
| 取組（事業・制度等）名称 | | KTC大学連携型地域知財活用モデル事業 |
| 取 組 概 要 | 概要・目的 | <p>大学が保有する知財を地域に還元するため、九州地区の大学が連携して、中小企業の顕在・潜在的ニーズを予め調査・解析した上で、大学保有の特許シーズの中からニーズに対応可能なシーズを選出する。また、大学の研究者自身がニーズのある地域に出向き新しいシーズの紹介を行う新技術説明会及び合同技術相談会を開催するとともに、コーディネータや知財関係者たちがマッチングのフォローアップを行う。</p> <p>この活動から、複数の大学が協働して地域の中小企業のニーズに対応し、産学連携を推進するモデルの構築を目指す。</p> |
| | 始 期 | 平成27年度 |
| | 終 期 | |
| | 関係機関 (大学・自治体・企業等) | 九州大学、熊本大学、佐賀大学、長崎大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学、山口大学、北九州市立大学、産業医科大学、福岡大学、久留米大学、九州産業大学 連携機関：九経局特許室、福岡県、中小機構九州など |
| | 成 果 | 年に2回、新技術説明会及び合同技術相談会を実施することで、いくつかのニーズ・シーズのマッチングに成功している。また、説明会で発表したシーズではないものの、事業に参加した企業からの相談により、新たな産学連携プロジェクトに発展しそうな案件も出ている。こうした中小企業のニーズとシーズのマッチング活動を通して、共同・受託研究に発展し、知財活用や研究開発に取り組む企業の増加につながり、九州地域の中小企業が研究開発型に変革する後押しとなっている。 |
| その他特記事項 | 平成30年度以降は九州大学が取りまとめ校となり、事業を継続する。 | |

| | | |
|------------------|----------------------|--|
| 大 学 名 | | 熊本大学 |
| 分 類 | 大 分 類 | 産学連携・地域連携 |
| | 小 分 類 | ①複数大学による産学連携体制の構築、ベンチャー支援 |
| 他大学等の参加の可・不可 | | 参加可 |
| 取組（事業・制度等）名称 | | 熊本県次世代ベンチャー創出支援コンソーシアム |
| 取 組 概 要 | 概要・目的 | 自然共生型産業などの新たな成長産業の創出につながる起業者やベンチャー等の取組を後押しするため、起業しやすい環境づくり及び研究開発から事業展開に至るまでの各段階に応じた支援体制の構築を図り、もって熊本県の活力創造に寄与することを目的とする。 |
| | 始 期 | 平成28年2月 |
| | 終 期 | |
| | 関係機関 (大学・自治体・企業等) | 熊本大学・熊本県・肥後銀行・熊本県工業連合会・株式会社リバネス |
| | 成 果 | 毎年、リアルテックグランプリがあり、その後もリアルテックスクールや投資プレゼン等年間を通して育成が行われ、熊本大学から設立したベンチャーは、平成28年度1社、平成29年度3社が設立し、熊本においても創業の芽が順調に出てきている。 |
| | その他特記事項 | 熊本県次世代ベンチャー創出支援コンソーシアム公式サイト https://kumamoto-techplanter.com/#about_consortium |